

佐野市景況レポート

令和5年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

コロナ禍前の業況指数に戻るも『昔の基準からの脱却を』

【 令和5年4～6月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲22.7、前期（3月期）比+7.1ポイントと、市内事業所の景況感は2期連続改善し、コロナ禍前の水準に戻りました。

利益DI指数は▲33.6（前期比+5.9）と改善しました。売上高DI指数は▲17.7（前期比+9.0）、原材料・仕入価格DI指数は60.2（前期比▲1.5）、販売価格DI指数は14.9（前期比▲6.4）、と売上高は増加したが、原材料・仕入価格は高止まりで販売価格は低下しました。

【 令和5年7～9月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲22.4（前期比+3.7）と、今後3カ月間の景況感は改善の見通しです。売上高DI指数▲14.2（前期比+3.9）、原材料・仕入価格指数46.5（前期比▲8.5）、販売価格指数8.6（前期比▲7.4）と、売上DI指数は改善し、原材料・仕入価格指数と販売価格指数は低下する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

事業所からの景況に関するコメントには、前期同様に原材料・仕入価格、電気料金の高騰がほぼ全業種で記載されていますが、コロナ禍に関するコメントは僅かになりました。新型コロナウイルス影響の推移（P9）をみると、R5年6月期には『影響がある14%』、『やや影響がある31%』と影響を感じている事業所は45%に、1年前の77%に比べ大幅減少しました。

事業所からのコメントに、『昔の基準から脱却しないと社会についていけなくなる』との記述がありました。同感です。コロナ禍前の業況指数に戻っても、経営環境は異なります。これからの経営環境に沿った新しい基準・価値観・方針・経営目標の策定を提案します。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和5年4～6月期）		見通し（令和5年7～9月期）	
業 況	▲22.7		▲26.1	
売 上 高	▲17.7		▲18.1	
販 売 価 格	14.9		16.0	
仕 入 価 格	60.2		55.0	
労 働 力	▲24.8		—	—

* 天気図の説明
（数字はDI値）
・ 仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和5年4～6月期実績）

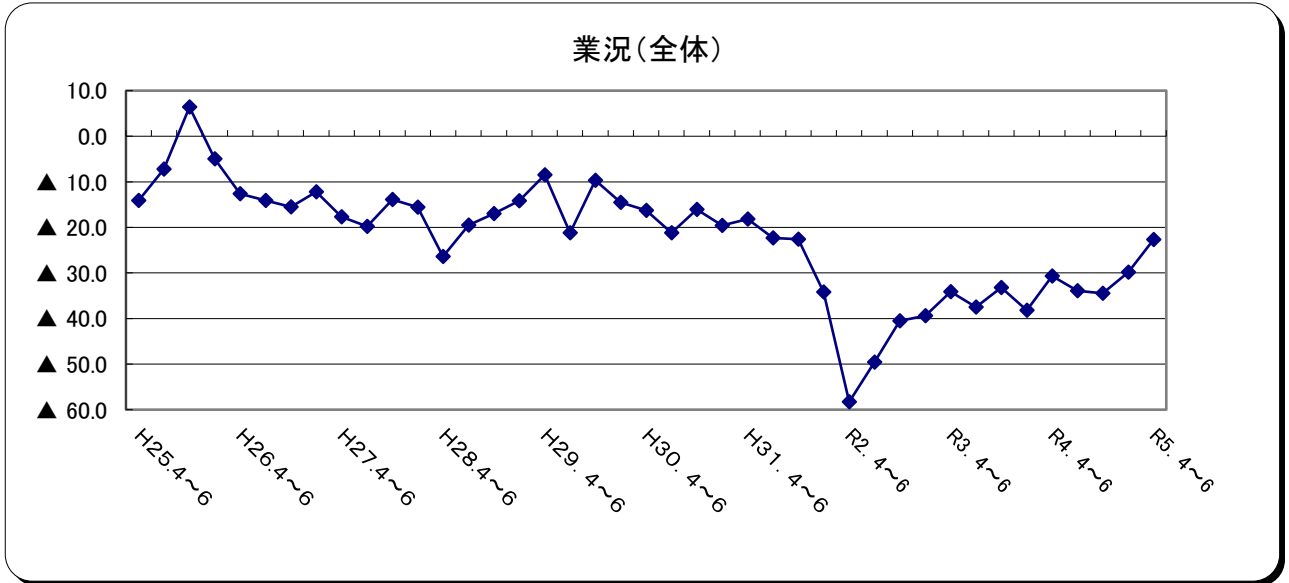


全業種DI指数▲22.7、前期比7.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業9.1ポイント、②サービス業▲7.9ポイント、③建設業▲13.6ポイント、④繊維品製造業▲14.3ポイント、⑤食品製造業▲18.4ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和5年4～6月期実績）



全業種DI指数60.2、前期比▲1.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店89.5ポイント、②設備業73.3ポイント、③小売業(飲・食料品)69.2ポイント、④その他の小売業(大型店含む)68.4ポイント、⑤建設業68.0ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和5年4～6月期実績）

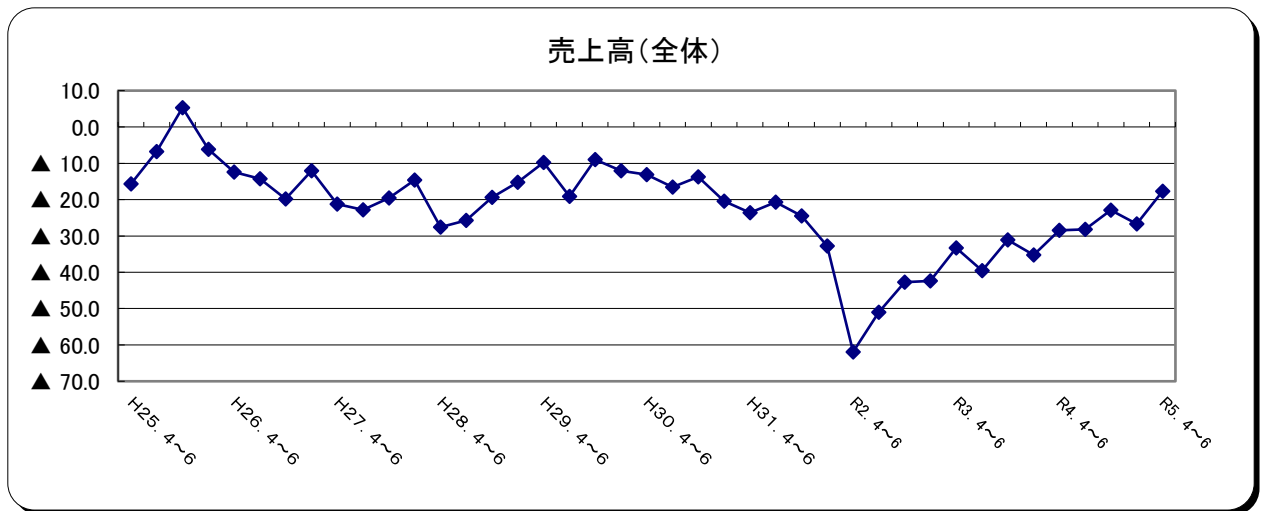


全業種DI指数▲17.7、前期比9.0ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 27.3ポイント、②食品製造業 6.1ポイント、③繊維品製造業、小売業(飲・食料品)0.0ポイント、④サービス業▲7.9ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業▲17.6ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和5年4～6月期実績）

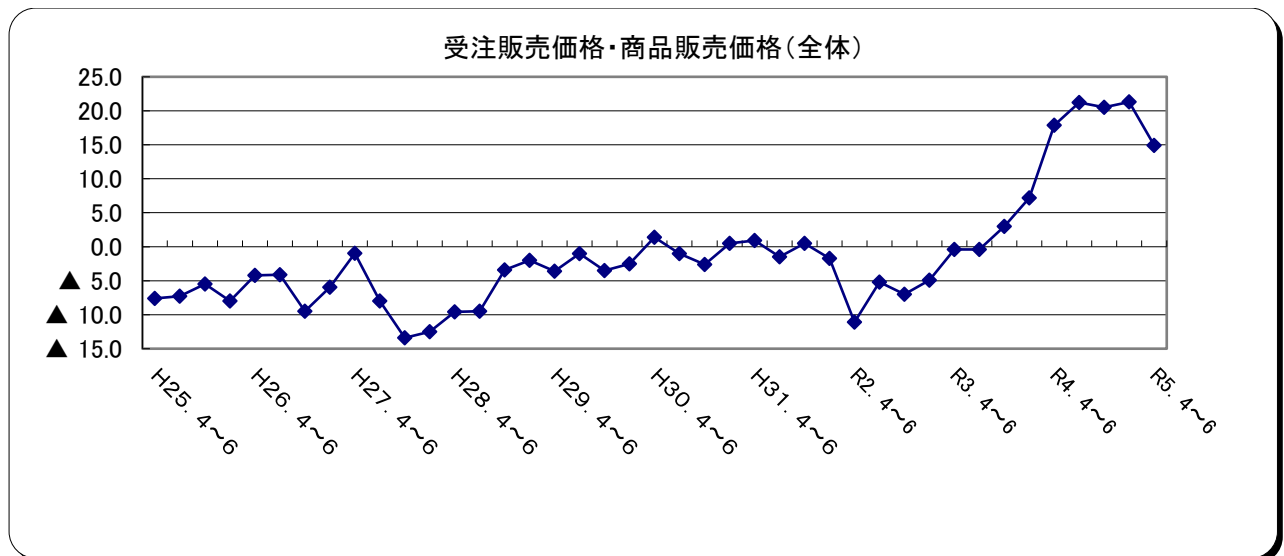


全業種DI指数 14.9、前期比▲6.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の小売業(大型店含む)28.1ポイント、②その他の製造業 27.3ポイント、③設備業 23.1ポイント、④化学・プラスチック製品製造業 20.9ポイント、⑤小売業(飲・食料品)20.0ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和5年4～6月期実績）

天気図

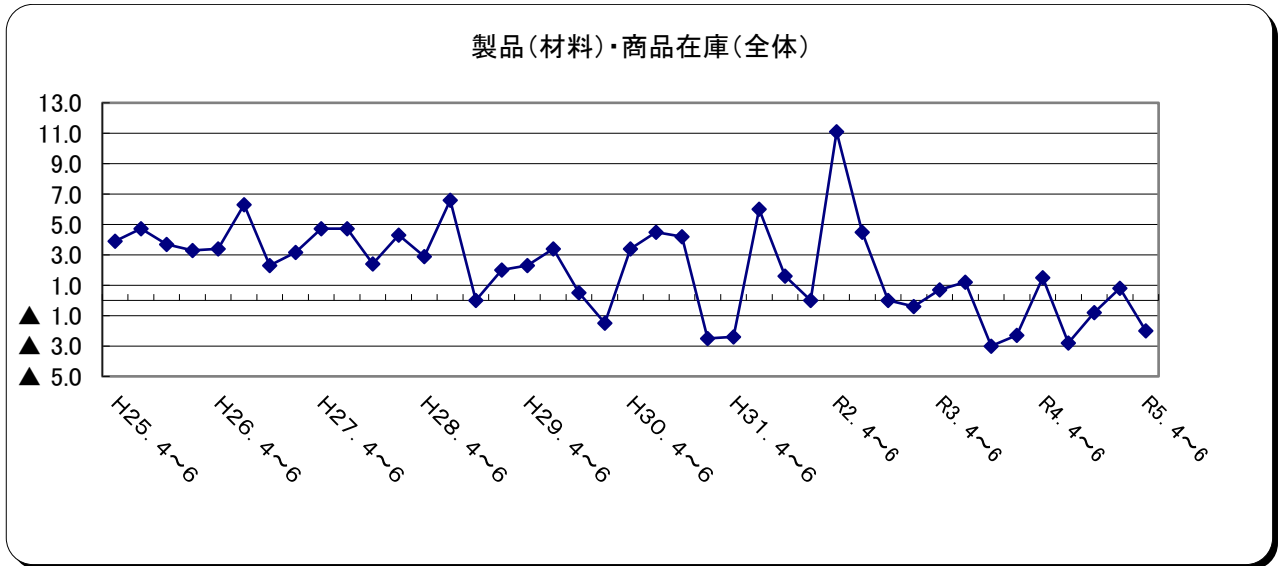


全業種DI指数▲2.0、前期比▲2.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 13.6ポイント、②小売業(飲・食料品)6.4ポイント、③その他の製造業 5.3ポイント、④建設業、食品製造業、その他の小売業(大型店含む)0.0ポイント、⑤機械・金属製造業▲4.0ポイント

過大
↑
↓
不足



天気図



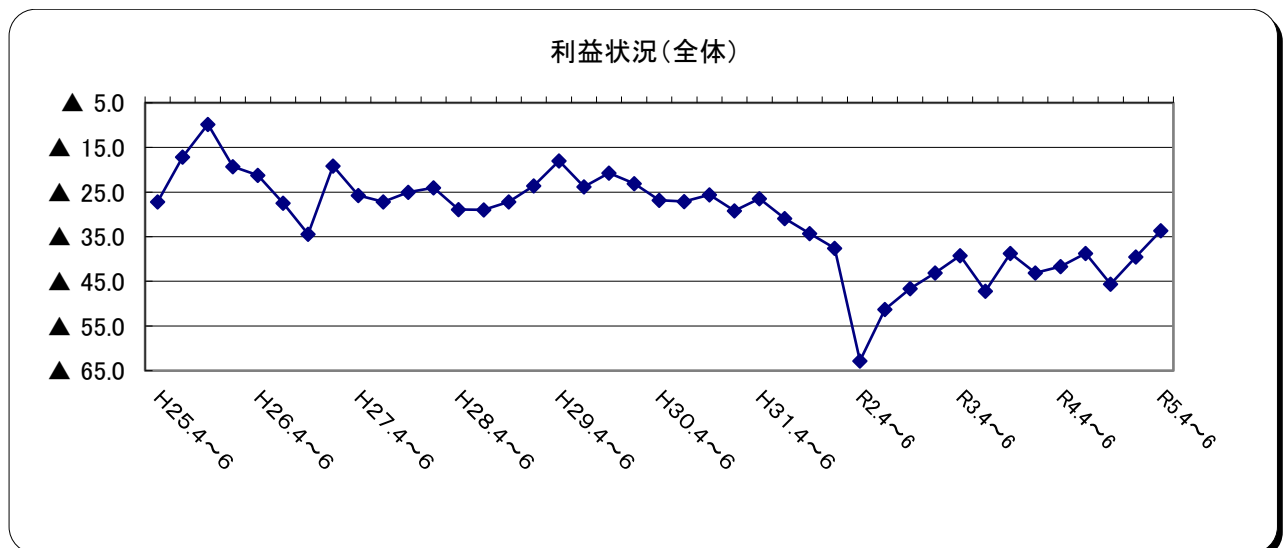
☆ 利益状況について（令和5年4～6月期実績）

全業種DI指数▲33.6、前期比 5.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)▲7.0ポイント、②繊維品製造業▲15.0ポイント、③卸売業▲18.8ポイント、④設備業▲30.6ポイント、⑤機械・金属製造業、その他の小売業(大型店含む)▲33.3ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（令和5年4～6月期実績）

天気図

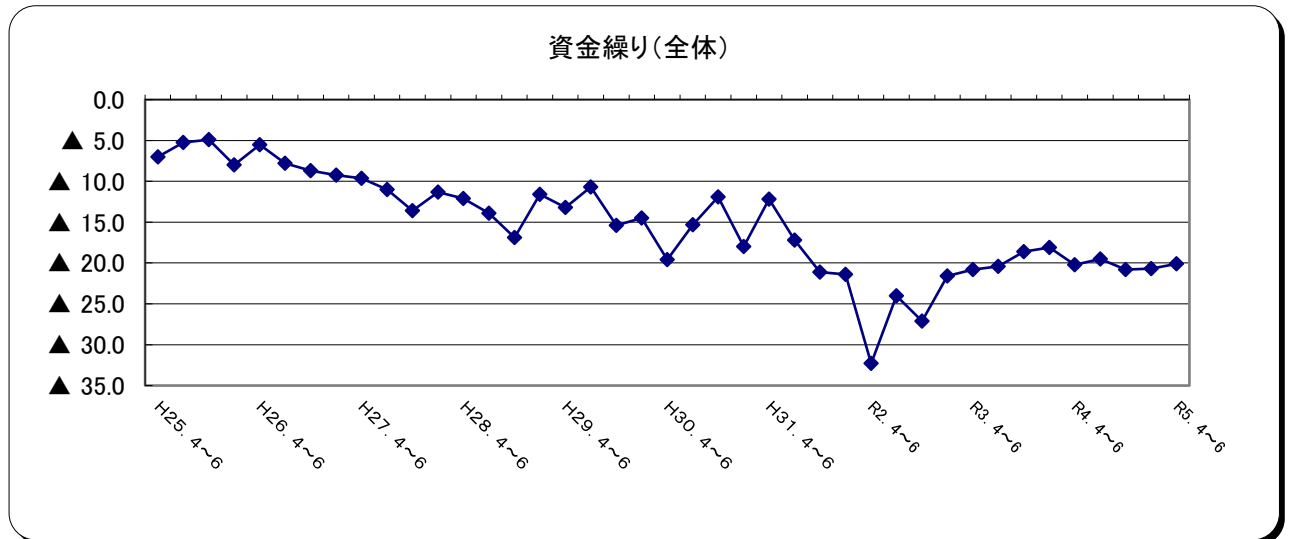


全業種DI指数▲20.1、前期比0.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲5.3ポイント、②食品製造業▲11.5ポイント、③建設業▲13.6ポイント、④繊維品製造業▲15.0ポイント、⑤設備業▲17.0ポイント

楽
↑
↓
苦



☆ 労働力について（令和5年4～6月期実績）

天気図



全業種DI指数▲24.8、前期比1.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲12.0ポイント、②小売業(飲・食料品)▲13.0ポイント、③繊維品製造業▲14.3ポイント、④食品製造業▲17.6ポイント、⑤その他の製造業▲21.4ポイント

過剰
↑
↓
不足

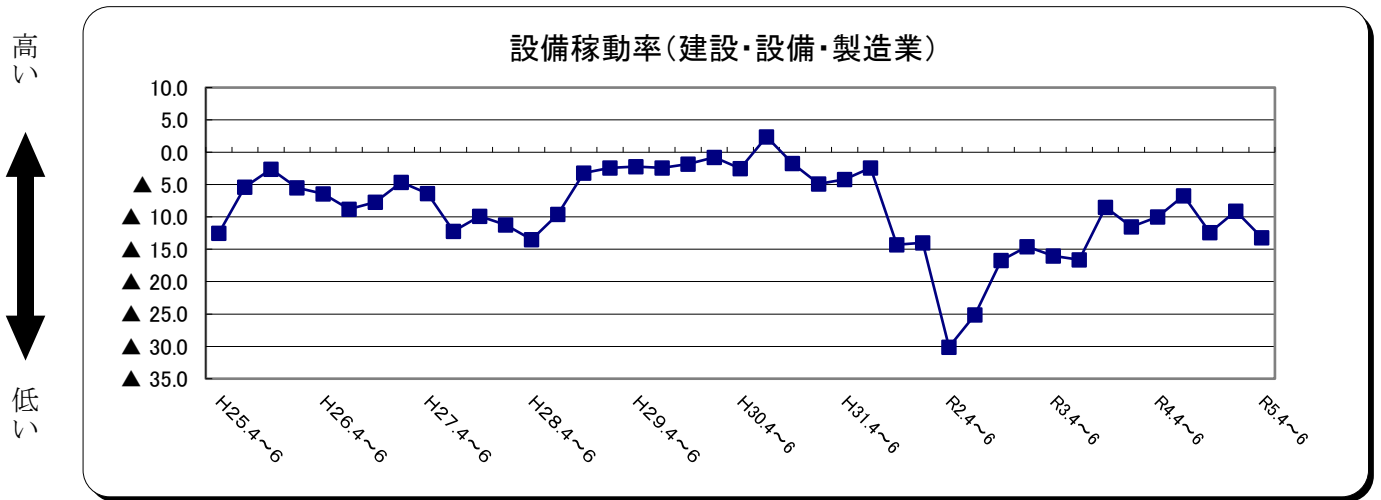


☆ 設備稼働率について（令和5年4～6月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種 DI 指数▲13.2、前期比▲4.1ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①食品製造業 0.0ポイント、②繊維品製造業▲7.0ポイント、③建設業▲13.6ポイント、
- ④設備業▲23.1ポイント、⑤その他の製造業▲27.3ポイント

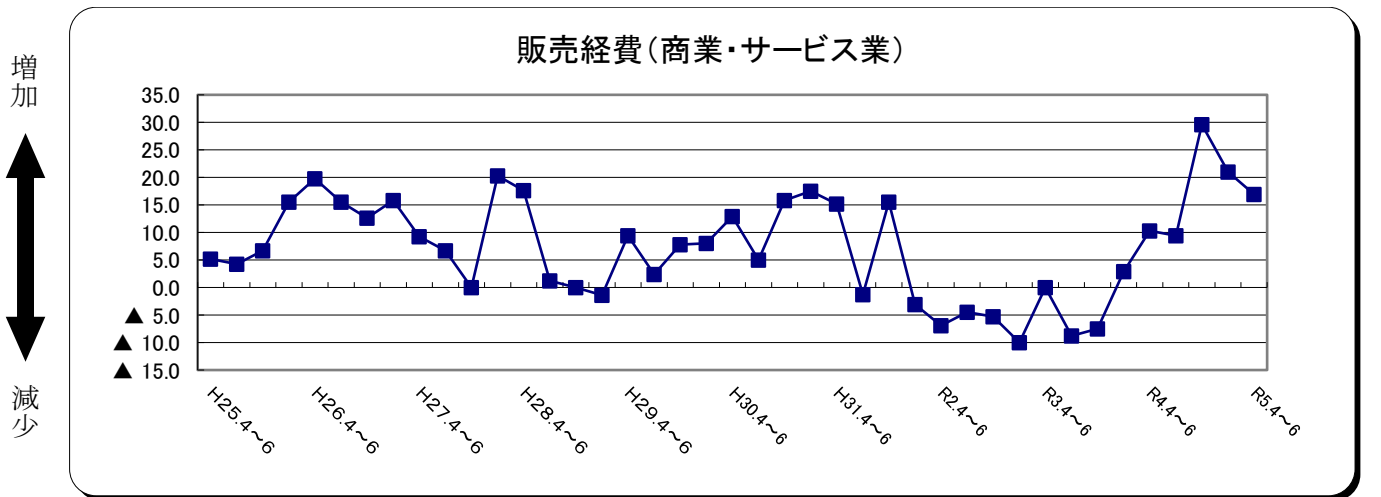


☆ 販売経費について（令和5年4～6月期実績）
（商業・サービス業関係）



全業種 DI 指数 16.9、前期比▲4.1ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①卸売業 37.5ポイント、②小売業(飲・食料品)28.6ポイント、③飲食店 26.5ポイント、
- ④その他の小売業(大型店含む)4.6ポイント、⑤サービス業 3.9ポイント

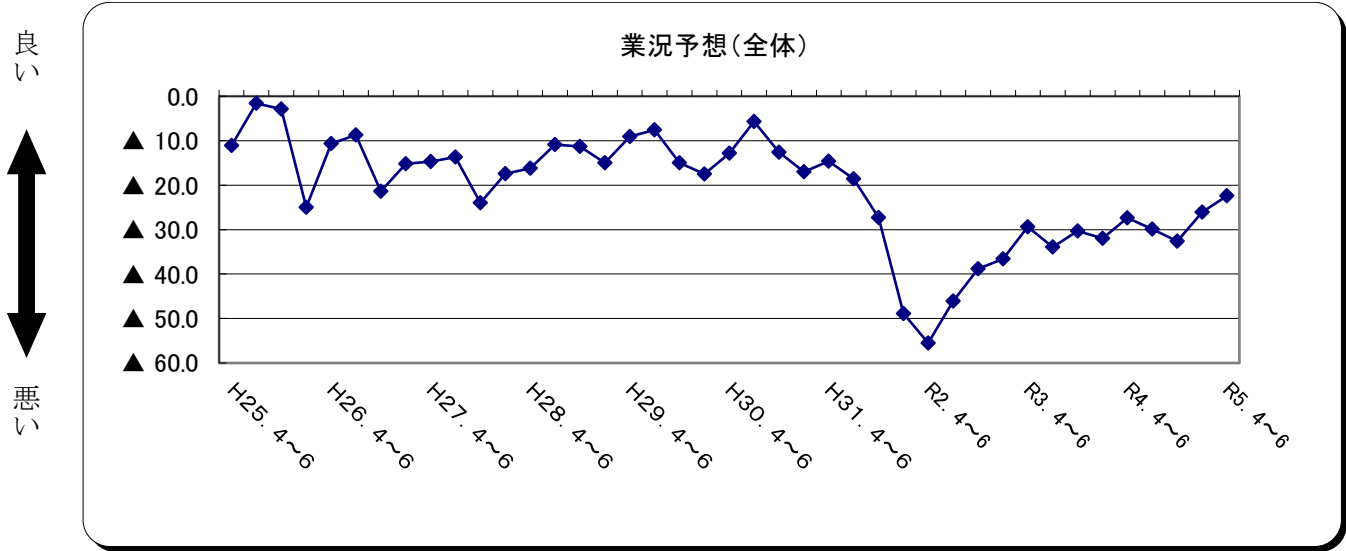


☆ 今後3ヶ月先（令和5年7～9月期の見通し）の業況について

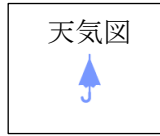


全業種DI指数▲22.4、前期比3.7ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業▲5.9ポイント、②サービス業▲8.1ポイント、③卸売業▲8.6ポイント、④化学・プラスチック製品製造業▲14.3ポイント、⑤建設業▲20.9ポイント

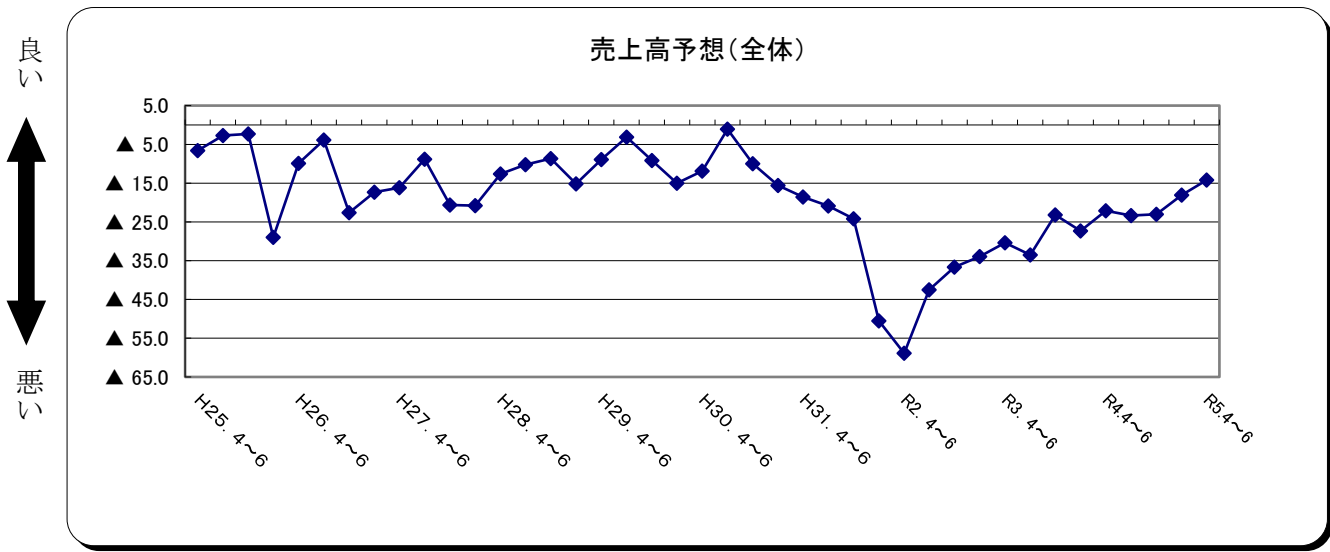


☆ 今後3ヶ月先（令和5年7～9月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲14.2、前期比3.9ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 0.0ポイント、②サービス業▲4.0ポイント、③その他の製造業▲5.3ポイント、④小売業（飲・食料品）▲7.0ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲7.1ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和5年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

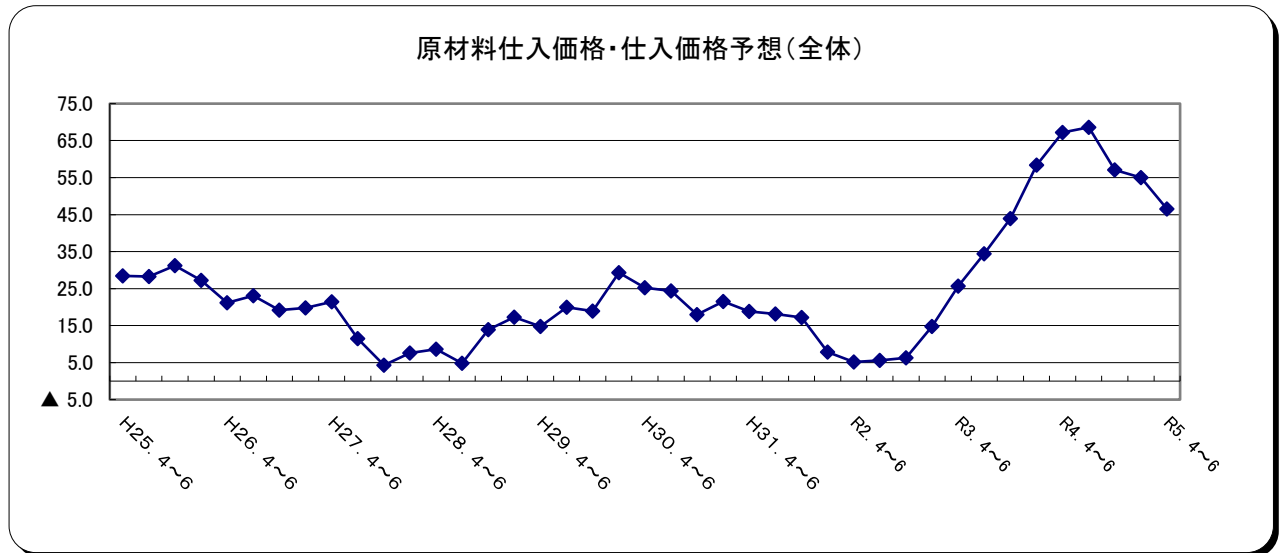


全業種DI指数 46.5、前期比▲8.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 67.7ポイント、②食品製造業 65.2ポイント、③建設業 58.4ポイント、④その他の小売業(大型店含む) 55.9ポイント、⑤その他の製造業 52.9ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和5年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

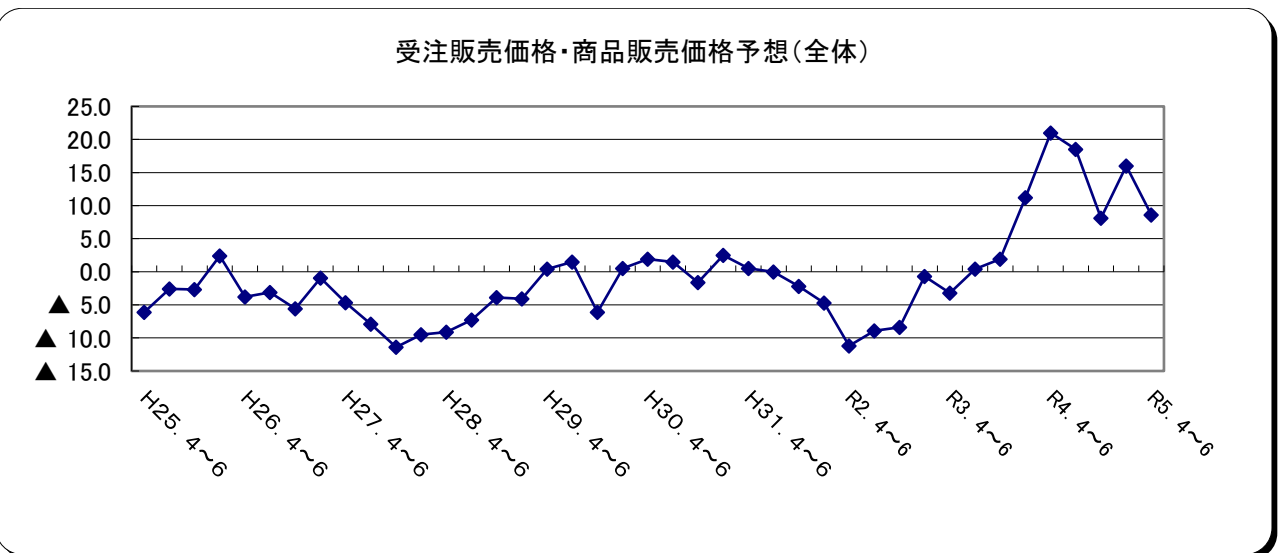


全業種DI指数 8.6、前期比▲7.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

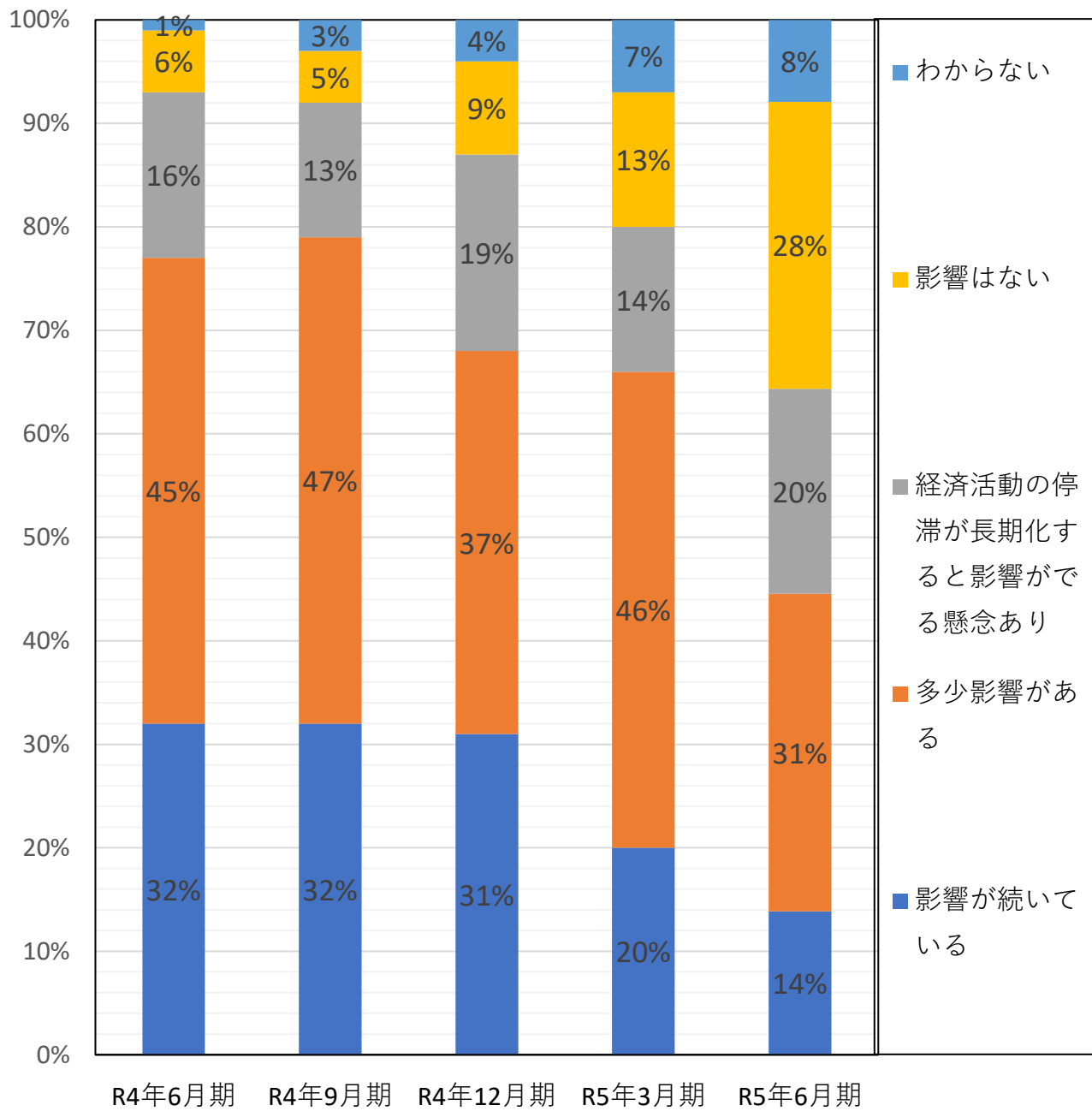
- ①その他の小売業(大型店含む) 18.2ポイント、②建設業 18.1ポイント、③卸売業 17.6ポイント④その他の製造業 15.8ポイント、⑤設備業、食品製造業 11.1ポイント

上昇
↓
下落



新型コロナウイルス影響の推移

(令和4年6月期～令和5年6月期)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・物価高のため利益が少なくなっている。
- ・インフレのため仕入上昇がきびしいです。
- ・製品製造用型枠を刷新し始めています。何か助成金の使える情報があれば効率的に利用したいです。
- ・コロナが落ちついても、物価上昇がとまらないです。
- ・今年度は景気が良くなることを期待します。

設備工事業

- ・原材料費や輸送費の値上げが影響しているが、景気は上昇していると思われる。
- ・頑張ります。
- ・資機材の仕入れ価格の上昇、納期の不明な機器もいまだにあります。人手不足と人件費の増加、働き方改革の時間外労働の上限規制等で不安要素だらけ！

繊維品製造業

- ・光熱費、輸送コストの価格転換が難しい。
- ・弊社は仕入が輸入品のため、為替レートの変動が大きく利益に直結しており困っております。
- ・他業種からの問い合わせが増えている。
- ・引き続きユーティリティコストの上昇が厳しい事になっている。
- ・電気代に対する政府補助がなくなる秋以降値上げを予定しています。

食品製造業

- ・イベントを多くして佐野にたくさんにぎわいを作りたいです。人が来なければ人がいる所へどんどんPRして佐野を盛り上げてもらいたいです。
- ・原材料の値上げが続いていて非常に厳しい、販売価格に転嫁出来ない。
- ・アフターコロナで動いて来ているので、自分で道を造って動き出す。
- ・エネルギーコスト、原料価格の値上げ、人手不足が延々続いております。
- ・コロナ後の現状に対し「コロナ前」の売上、利益に戻ることが世間的に正解という風潮があるが、コロナ以外でも様々なことが起きており「コロナ」前には戻ることはないと思うが、コロナ前への復活(回復)を望む人が多いように思う。私含め昔の基準から脱却しないと社会についていけない。

機械・金属製品製造業

- ・半導体業会、自動車業会ともに落ち込んでおり、今年後半まで続きそうである。
- ・半導体不足、ウクライナ問題、電気自動車等要因が複合的に影響し合い物価が上昇、生産減少となっていると思います。
- ・ロシア問題の早期解決を願います。
- ・コロナが落ちついて来て景気が回復していると言っているが実感がありません。零細企業の従業員は日々のくらしが大変です。

化学・プラスチック製品製造業

- ・新型コロナウイルスによる影響が続いていますが、7月より販売部門にて拡販活動を実施し、売上高増加の見込みとなっています。
- ・円安により仕入価格が高止まりの状況。
- ・多少仕事が増えてきました。

- ・ロシア・ウクライナ情勢による影響が引続き継続する。懸念されることに加え電力等の値上げによる影響が大きく響いている状況です。人員不足も影響している。
- ・電気料金などの価格上昇の影響がある。
- ・仕事の集中化(期日的)による負荷拡大、平均にならない為増産が難しく人員不足も影響している。
- ・電気料金は引き続き上がっている。ダンボール(梱包材)が上がってまして苦しいです。

その他製造業

- ・材料費が全て高騰している、特に円安の影響が多大、客に積極的に営業できる価格帯じゃなくなってしまうている。
- ・夏場の閑散期に当たるので、全般的に業況は悪い。また5月からコロナ5類の移行になり、ビジネススタイルが明確にならず弊社のオフィス家具の動きが悪い。
- ・電気料金など値上りしているのたいへん。

卸売業

- ・建築業の先行については皆わからないのでは？
- ・全て物価高で仕入れ値が上昇。今のところ資金繰りは大丈夫ですが今後が心配。
- ・7月～8月値上、経費増続く。
- ・ロシアのウクライナ進攻の動向が業況に影響すると考えていますので気掛かりです。

小売業（飲・食料品）

- ・今年2月から私一人で揚げもちの製造を再開しました。商圏は小さくなり在庫調製しながらやっています。
- ・材料の仕入価格は12月まで上昇する為、値上げを考えなくてはと思っています。加えて秋には最低賃金も又上がる様なので増々大変です。
- ・最近では企業診断士の先生や弁護士の先生とのお話の場を提供していただき、大変助け知恵となりました。ありがとうございます。
- ・現状維持から上昇になればと思います。

その他の小売業（大型店含む）

- ・戦争を理由(言い訳)に防衛費や軍事費を上げ過ぎている。経済や景気回復に力を注ぐべきである。
- ・昨年よりは売上げや来店客数もふえた。利益はでないが・・・。
- ・コロナの状況が良くなっていますが、営業はコロナ期より悪くなっています回復しません。
- ・コロナウイルスの流れで外出する人が少ない。お客さんが退職しハイブリッド車に乗るのでガソリンを入れる回数が少ない。
- ・販売苦戦。
- ・店舗は開店しましたが道路工事中なので来店客が少ない。
- ・人の通りが少なすぎる。売上減り諸費用がいろいろ係り同業者も大変辞めた。もう少し頑張る。
- ・商品価格の値上げ、電気代の高騰等の影響で消費行動に変化が起きている。必要な物を必要なだけ買い、ついで買いや衝動買いが減少傾向にある。
- ・5月GWよりお客様の流れ変化あり。ただ休日は数値伸びますが、平日は落ち込みがあり不安定な状況です。

飲食店

- ・仕入価格は相変わらず上げ止まりが見えず赤字が続く状態、労働力不足で休業日になる事も。
- ・テイクアウト需要の減少、仕入や販売経費の上昇による値上げの影響などが続いています。社会全体的な賃上げのせいか週末の慢性的な人員不足も課題です。
- ・コロナの5類感染症に変更にともない、今まで中止された会合が増えて、5月は売上が増加しました。6月以降の先行きについては落ち着いて来ると思います。

- ・仕入れの価格高騰により苦しい(光熱費)。
- ・コロナウイルスの影響は大分緩和されてはいるが、その分価格高騰の影響が大きい。
- ・原材料費、光熱費の上昇がとても痛い。
- ・長引いたコロナの影響により夜の客の入りに戻りません。それに物価の値上げが止まりません。とても経営が難しいです。
- ・厳しいです。
- ・いつもお力及びご支援を頂き感謝致します。
- ・全体的に上向いているが、客単価は低め。仕入値は異常な位に上昇している。
- ・コロナ後コロナを乗り越えたと思えるようしっかりやっていきたいです。そうになると(良くなると)期待しています。
- ・コロナもマスクも終了したことなので、前向きな気持ちでがんばっていききたいです。
- ・昼、夜ともお客様の戻りが見受けられません。
- ・そろそろ2回目のメニュー価格の変更も検討しなくては・・・。
- ・夜の宴会需要の回復に期待しております。
- ・アルバイトを募集しても飲食店には来てもらえません。
- ・仕入価格の上昇が止まりません。

サービス業

- ・コロナの自粛もおさまりインドアからアウトドアへ移行したように思います。
- ・売上は微増ですが体感は悪くない感じです。
- ・補助金採択されたが辞退した。煩雑な事後処理に追われるより事業に専念した方が良いと考えた。昨年は今までにない売上げを更新した。今年も年度初めは良くないがこれから上げたい。
- ・5 類に下がった事でセミナー依頼が増加しています。売上につながる事を期待しています。
- ・社会や経済環境ではなく自分の努力不足だと捉え乗り切ります。
- ・4 月、5 月は観光バス増加で売上増加したが、6 月～11 月の半年間は未だ不透明。例年コロナ前だったら予約入っていた。
- ・結婚式の場合、半年前～1 年前に予約をし、売上げは先になる為苦しい。見学者数、予約数は増加しているので回復の見込みあり。次の課題は少子化問題。
- ・9 月に全メニューの値上げをします。
- ・マスクがいらなくなると心配だよねと言うお客様もいらっしゃいます。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和5年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、201社（回答率69.3%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所